

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより令和5年6月12日発行

6月の主な行事予定

- 6月 2日(金) 第1回人権教育プログラムファシリテータースキルアップ研修会
- 6月 4日(日) 中部地区少年少女のつどい
- 6月10日(土) 令和5年度鳥取県PTA役員研修会
- 6月20日(火) 鳥取県社会教育関係者のためのICT活用研修①
- 6月22日(木) 鳥取県社会教育協議会総会
- 6月22日(木) 子育て・家庭教育支援員養成講座兼家庭教育関係者研修会①
- 6月27日(火) 鳥取県社会教育関係者のためのICT活用研修②
- 6月30日(金) 中部地区人権教育懇談会①

初めてのスポーツクライミング体験！

6月4日(日)に中部地区少年少女のつどいが倉吉スポーツクライミングセンター(倉吉体育文化会館)にて開催されました。当日は、中部地区小学生の4年生から6年生までの51人が参加しました。参加者のほとんどが初めて体験するクライミング。簡単なボルダリングから難易度が上がるリード、さらに速さを競うスピードなど、県山岳・クライミング協会の方々に指導を受けながら体験しました。参加者は、「とてもおもしろかった。またやりたい！」などの感想が多かったです。

日程				
12:30	13:00	13:20	15:45	16:00
受付	開会行事	クライミング体験 ①ボルダリング、②リード、③スピード (班に分かれてのローテーション)	閉会行事	解散



ボルダリング



リード



スピード

社会教育の底力！

5月20日(土)～21日(日)の2日間、福岡県立社会教育総合センターにて、昨年に続き第40回中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会が開催されました。実践発表が午前午後とそれぞれ4会場に分かれ、合計28の実践が発表されました。また鳥取県も若桜町の「公民館と青少年育成アドバイザーの連携」や八頭町の「廃校小学校の活用」について実践発表がありました。

昨年から再開されたこの会には、発足当初から携わってこられた方々、そしてこの会に賛同された多くの方々の社会教育への熱い思いを感じました。ぜひ社会教育関係のみならず一度参加してみられると、「社会教育の底力」に圧倒されると思います。



ちゅうぶくん

～つゆ～



でもこれは6月梅雨(つゆ)には全く関係ない出来事でした！

*ちゅうぶくんひとり言：七月までにはやせてやる！

シリーズ もっと知り隊！

湯梨浜町家庭教育支援チーム「くぶくぶ」

令和5年度より、中部地区に初の家庭教育支援チーム「ゆりはま子育てネットワークくぶくぶ」が誕生しました。

くぶくぶとは、ハワイ語「kupukupu」を由来としています。kupukupuは溶岩が流れた後、初めに芽を出すタマシダのことで、荒地を緑に変える恵の植物ともいわれています。子どもたちがこのkupukupuのようにたくましくすくすくと育ち、そしてkupukupuが荒地を緑に変えるように、子どもたちの笑顔が周りの人々を笑顔にしていくような、そんな子育てができる地域を目指して、2022年から活動をスタートしました。スタッフは現在14人で運営しており、毎月第3日曜日に「あそび～の」というイベントを開催しています。子どもたちはシャボン玉を作ったり、工作に熱中したり、動物と触れ合ったり、虫やカエルをつかまえては大人たちをびっくりさせたり…子どもたちがおもいっきり遊べる、そして保護者だけでなく、地域の多様な大人たちも子育てに参加する遊び場を作っています。



活動の様子はこちらから / 公式LINE FB



【あとがき】

今年も福岡の交流会に参加しました。今回はなるべく乗換えの少ない列車、特急「スーパーおき」で行きました。ところが、特急でありながら2両編成、「スピードが上がった普通の列車」といった感じでした。途中、江津や浜田の風景に大学時代を思い出しました。思いつきで、秋吉台サファリランドに「ポケットモンキー捕獲作戦」に出かけ、途中の娯楽施設でお金もなくし、早朝出たのに閉園前にたどり着き、おまけに初めて見たリス猿は、捕獲用のリュックに入るようなサイズではなく、ただただ疲れただけの旅で終わった記憶が、ばかばかしくも懐かしく思い出されました。若いってすごいなあ、つくづく思いました。

中部教育局 社会教育担当係長 徳永正樹
 電話 0858-23-3253
 FAX 0858-23-5203
 E-mail tokunagama@pref.tottori.lg.jp

